

あたま 市議会だより

第51号
令和4年
8月10日

- P2~8 令和4年6月定例会
質疑および一般質問（要旨）
- P8 議会のはてな？
- P9 令和4年6月定例会 議決結果
- P10 可決された意見書 委員長報告
- P11 伊豆山土石流災害に関する調査特別委員会
調査経過を報告します
- P12 議会からの報告・お知らせ
令和4年9月定例会の主な日程



令和4年6月定例会について

6月定例会は、6月9日から6月29日まで21日間の会期で開催し、議案6件、報告9件、同意2件、諮問1件、発議案1件、選挙1件、について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：熱海スカイデッキ

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

Email gikai@city.atami.shizuoka.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

熱海市議会





よねやまひでお
米山秀夫 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

伊豆山土石流災害に関する原因究明について

質問 源頭部に隣接する宅地造成について安全な状況とは言えないが、下流域住民への危険性の周知に対する市としての認識を伺う。

答弁 一部が未完了となっており、築造された道路や排水施設等の管理が一部で不十分である。造成途中で中断し土石流災害発生後は、具体的な進展がみられていない。現地確認の結果から、当該開発区域において、ただちに災害が発生し下流域にまで被害を及ぼす

ほどの危険性はないものと認識している。

質問 地位継承の手続きや発災の要因等を考えるとき、検証委員会の公平性が保たれているのか疑問に感じている。この事に対する市の認識を伺う。

答弁 県土採取等規制条例が、土地の所有者に対し是正措置を講じるよう指示・命令ができるないと認識している。地位の承継については、C者側は届出の地位を承継した場合に、盛土の原因者であるA社が責任を負わないで

その他の質問項目
■隣接する宅地造成工事の是正工事 ■盛土崩壊の危険性の認識

6月定例会質疑・一般質問の様子は
こちらから



伊豆山復興計画について



こさかさちえ
小坂幸枝 議員

日本共産党
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

質問 伊豆山地域復興計画の基本としていることは。
答弁 安全・安心の確保、すみやかな生活再建、創造的復興が3つの柱。
質問 逢初川中流部の河川・道路改修計画は示されたが、他の流域は。
答弁 上流部は原型復旧、下流部は原則原型復旧、一部不良箇所改良。
質問 第2の盛土の安全性は。
答弁 県と市が現土地所有者に対し応急仮設工事を実施させ、恒久的な是正に向けた指導を行っている。
質問 鳴沢川流域付近の住宅地などの安全性は。
答弁 開発当時は県に許可権限があり、県が検査済証を出しているの、適正に施工されたという認識。

質問 地域に潜在する問題点とは。
答弁 避難路や緊急車両が入れる道路の確保、一時避難場所の設置、防災意識づくりの推進、コミュニティの再生と維持、地域交通の確保、保健・医療・福祉の向上、子育て環境の整備、地域資源の活用など。
要望 市民の安全・安心を担保するのが行政の役目。二度とあのような災害を起こさないよう、危険をチエックして見逃さない、強い姿勢でのぞんで欲しい。市の6割以上を占める山林の緑が削られ、沢が産廃残土で埋められるのを市民は誰も望んではいない。

その他の質問項目
■交通不便地域への交通対策
■学校給食の保護者負担軽減

6月定例会質疑・一般質問の様子は
こちらから

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



やま だ はる お
山田治雄 議員

熱海市民クラブ
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■国の山の中への残土規制法なし ■県は土石流の危険を示せなかったか

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



伊豆山土石流の主な原因は自然災害ではない 教員の皆さんに自己研修の時間があるのか

【質問】 市当局は、今回の土石流の起こった主要な原因について私の質問に「数十年に一度の自然災害」との答え。極めて非科学的、非合理的な答弁。私はこの答えに全く同意できない。土石流の最大の要因はあの山の中の急峻な谷間に盛土と

数十年に一度の自然災害による要因があり、不適切な盛土が被害を拡大させた側面があるのではないかと推測している。

【質問】 文部科学省は、教員不足について公表。本市ではどうかとの問いに、教育長は、「そのようなことはない」とのことであった。先生方は自己研修にも時間が取れ、地域活動にも参加でき、仕事を家に持ち帰るようなことはないのか。今の教育現場はこれらが十分でないのが実情。これ

らば教員不足からと強く指摘。この実態はどうなのか。

【質問】 文部科学省は、己研修等は、時間外勤務の状況や、部活動の指導などにより、十分な時間が取れないということはいえる。学級だよりや学年だよりの製作などの際には自宅

で作業する場合もある。

【答弁】 県の発生原因調査検証委員会の検証が終了しておらず、明確なことは申し上げられないが、基本的には、

調査検証委員会の検証が終了しておらず、明確なことは申し上げられないが、基本的には、

調査検証委員会の検証が終了しておらず、明確なことは申し上げられないが、基本的には、

ウィズコロナ・アフターコロナの観光戦略について より観光案内版について／防災について



ごとう ゆういち
後藤雄一 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



【質問】 市が設置する観光案内板の中には、老朽化し判読不能、ルートに変更あり、設置箇所の変更を検討すべきもの等がある。改修計画は。

【答弁】 毎月、公園内の施設点検に併せて調査を行っている。新たな散策ルートや観光施設がある場合は、案内情報を更新。利便性を高めるよう努める。

【質問】 タイムラインの作成は、有事の際に役立つと考える。市の取組は。

【答弁】 今年度は各々が自ら避難行動を起こす事を目指す「わたしの避難計画」を優先している。タイムラインの策定にあたっては地域や防災機関が抱える防災上の課題を解決させるために協議会等を立ち上げ、検

討していくことが望ましいと考える。

【要望】 町内会等で作る「コミュニティタイムライン」も必要。

【質問】 災害時には仮設トイレがすぐに避難者に届くとは限らず、避難者に比べて個数が不足することがあり得る。感染症等の点からみても清潔かつ、できる限り快適に整えておきたい。どのような充足を考えているか。

【答弁】 避難所で使用する簡易トイレは水を使わず凝固剤で処理するもの。23万回分を備蓄（一人あたり約6回分）。各家庭でも、備蓄のお願いをしたい。他、既設トイレの活用として清掃用品等、清潔に保つための必要な物資を準備する。

※ 〃で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。



た な か ひ で た か
田中秀宝 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(委員長)
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■伊豆山土石流災害における被災者生活再建支援制度■インボイス制度

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



観光に対する危機管理について
行政機構改革について

質問 観光客の安全確保や観光関連産業の事業継続など観光に特化した管理計画はあるのか。

答弁 具体化された計画はないが、災害が発生した場合などを想定して、市内のホテル旅館協同組合と、災害時における宿泊施設等の使用に関する協定を締結するなどの取組を行ってきた。今後、大規模地震等の災害時の具体的な帰宅困難者対策等を進めていきたい。

質問 本計画を策定し、観光客の安全確保に努めているが、本市においても観光危機管理に直面しているだけに、危機管理計画を策定するべきだと思つが。

答弁 危機管理への対応は必要だと考えており、※熱海観光局においても危機管理部門との連携により取り組みたいと考えている。

質問 観光行政の変化が求められ、かたや建設部門は伊豆山復興に注力しなければならぬ。観光部と建設部を分割し、部長が部署



コロナ禍の影響による生活困窮者等への支援策について
津波防災対策について

質問 コロナ禍で生活が悪化する世帯が増加する中、どのような支援が行われているか。

答弁 緊急小口資金や総合支援資金貸付制度、生活困窮者自立支援制度、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、子育て世帯生活支援特別給付金や子育て世帯への臨時特別給付金、今年度は子育て世帯に対する生活支援特別給付金がある。

質問 全市民のうちどれくらいの方が特別給付金などの給付を受けたのか。

答弁 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金については、現在、6,314世帯、全世帯数21,138世帯の約29.9%へ支給。

要望 コロナ禍の影響で落ち込んだ市内経済はいまだ復活途上、予断を許さな

い状況である。生活困窮者など社会的弱者に対する施策の充実を要望。

質問 津波災害警戒区域の指定区域の範囲は。

答弁 津波の浸水想定区域レベル2と同様の範囲。

質問 区域の指定後求められる対応は。

答弁 ハザードマップの更新、区域内の要配慮者利用施設の所有者・管理者に避難確保計画の作成、津波避難訓練の実施が義務化、不動産事業者は、宅地建物取引業法に基づく重要事項説明の義務化。

質問 指定までのスケジュールは。

答弁 8月から11月までに、関係者向けの説明会を市内で開催、12月から来年1月まで事前公表を行い、令和5年3月の「指定の公示」を目指す。



か わ が ち た け し
川口 健 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

■※熱海観光局について■霊柩自動車の運行と利便性の向上について

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



むらやまけんぞう
村山憲三 議員

熱海市政調査会
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■最新の市税滞納額について

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



伊豆山土石流災害復旧と観光地熱海の再生について 外国人誘致促進事業、ブルネイ・ダルサラーム国視察に

【質問】 伊豆山土石流災害復旧と観光地熱海の再生について伺う。

【答弁】 被災地域の復旧・復興に全力を尽くすとともに、今回の反省を踏まえた総括を行い、今後、本市で二度とこのような災害が起こらないよう、再発防止に、全力で取り組んでいく。またウィズコロナ、アフターコロナで熱海観光を回復させるための鍵は、ビジネス利用の促進と※インバウンド旅行者の取り込みであると考えている。日本の新しい目的地として熱海を売り込むことができれば、これま

での若者と同様にけん引役となると考える。

【質問】 成田に週3便就航するロイヤルブルネイ航空を活用して、ブルネイ・ダルサラーム国をはじめとした富裕国からの外国人観光客誘致促進事業を推進すべきだと考える。また、市当局及び市議会の代表者等のブルネイ視察について、年内にも本市側から視察を実施することがより多くのビジネスチャンスにつながるかと考えるが、当局の考えを質す。

【答弁】 ブルネイ・ダルサラーム国との観光交流については、新型コロナウイルス感染症による影響を勘案しながら検討する。令和元年11月市議会定例会において、ブルネイ・ダルサラーム国と東京オリンピックピック・パラリンピックホストタウンとして交流について説明した際にも、議員の訪問をお願いした。今後の新型コロナウイルス感染状況等を勘案しながら、改めてお願いしたい。

市長の公約「熱海2030ビジョン」より障がい者福祉の充実について／防災ラジオについて

【質問】 遅れている障がい者福祉分野。福祉政策は市内の施設を運営する方たち等との対話があつてこそその前進である。※ダイバーシティ宣言をしている街だが中身が伴っていない。熱海部会はどうする予定か。

【答弁】 7月に熱海・伊東地区地域自立支援協議会定例会を開催する。その終了後に熱海部会を開催予定。【要望】 政策の形成は市民との対話を通して生まれてくる。まちづくりは市役所だけでなく、市・住民・議会・企業等いろいろなプレイヤーが一緒になって進めていくもの。人口約3万4千人の小さい街、十分に市民の声が届く距離にある市長であることをお忘れなく。

【質問】 市民の間で災害情報に対する関心が高まっているが、スマートフォンからの情報取得は難しい等の理由でいまだに広報あたまのみを頼りにする方は少なくない。しかし、地形の問題等で聞こえにくい地域があるため防災ラジオの更なる普及は必須。各家庭で購入する際の補助制度は十分か。

【答弁】 熱海市自主防災会防災資機材等購入整備費の活用で購入金額の3分の2を補助する。【要望】 補助金の活用を地域に繰り返し呼びかけると共に補助金申請が増えた場合の財政的対応もしっかりと行つてほしい。



せんみょうじ
泉明寺みずほ 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
(副委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■※ヤングケアラーについて

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから





はしもとかずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■伊豆多賀駅裏・上多賀宝泉寺上・下多賀山伏大橋下の開発問題

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



警戒区域解除の見通しについて 被災者のヒアリングの取組について

【質問】 警戒区域の對象世帯の皆様は、避難生活を余儀なくされている状況だが、現状での警戒区域解除の見通し及び、部分的な区域の解除の可能性を伺う。

【答弁】 解除にあたっては、国が行っている新設堰堤が完成し、また源頭部に残されている不安定土砂等の除去が終わり、治水対策の進捗状況もみながら、一定の安全性が確認された後に判断することとなる。解除してもライフラインの整備状況により、完了したところから順次、戻っている。

ただくことが想定され、8月上旬には、解除に向けたスケジュール等をお示しする説明会の開催をする。部分的な解除の可能性については、区域内全体の安全確保が解除の要件であり想定していない。

【質問】 被災者ヒアリングで意見や要望を聞いてもらえていない、聞いてもらっても答えが返ってこないとの声があるが当局の見解は。

【答弁】 意見や要望、またご質問に的確にお答えできていない状況は大変申し訳なく感じている。市役所の各部

署から、かなりの数の職員が、役割や目的をもって皆様とお目にかかる中で、一方的に市側の要件だけを済ませてお気持ちを伺うところまでの配慮ができていない場面もあるかと思う。また、解決に時間を要する難しい案件もあると承知している。途中経過の報告や代案の提示など迅速かつ丁寧な対応に尽きる。今後とも努力と改善に努める。

物価が高騰するなか子育て世代の支援策について

【質問】 ロシアによるウクライナ侵略や、円安等により、食料や燃料価格が高騰する中、子育て世帯の負担増加を、市長はどのようにお考えか。

【答弁】 国による低所得の子育て世帯に対する特別給付金の支給や、学校給食等の保護者負担の軽減促進等については、本市においても国の臨時交付金を活用して実施していく考えを持っている。

【質問】 臨時交付金を活用して給食費の値上げ抑制のために、公私幼幼稚園、保育園、小中学校における給食料費の高騰分を市が負担すべきであり、さらに物価高騰が家計に与える影響を踏まえ、当面の間、無償化するべきと考えるが市長のお考えは。

【答弁】 臨時交付金を活用しての対応は具体的施策が決まり次第、議会に諮りたい。またご提案の給食費の無償化については、今後のコロナ禍の状況や物価高騰などの状況を踏まえ、交付金活用後の対策として検討したい。

【質問】 未就学児の幼児をお持ちの子育て世帯で、家庭において保育されているご家庭では全く恩恵を受けていない。そこで幼稚園、保育園に通っていないご家庭に対しても、金銭給付などの支援が必要ではないか。

【答弁】 市独自の支援策として検討していきたい。



いなむらちひろ
稲村千尋 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

■伊豆山土石流災害について
■伊豆山の復興まちづくりについて

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



たかはし ゆきお
高橋幸雄 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■ 土石流災害から1年経過しようとしている伊豆山小学校の学校生活について

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



伊豆山における復興まちづくりについて／伊豆山土石流災害からの事業者の再建と今後の復興に向けての支援について

質問 復興事業を進めていくためには、事業区域を指定した区域の皆さんの理解が必要不可欠である。市は復興を早期に完了させるための方法として何か考えがあるのか。

答弁 復興事業を進めていくうえで、体制は、現在の復興推進本部と、まちづくり事業を担う観光建設部を中心に連携していくことと共に、事業スケジュールの短縮化と今後、発生する課題等については全庁をあげて伊豆山地区の復興にあたりたいと考えている。

復旧支援事業の対象補助制度は令和4年度までの時限的な措置で、市が住民に説明した小規模住宅地区改良事業では、いったん市が土地を買い上げ、再分譲することとされており、スケジュールは令和7年度以降で、補助制度は利用できない。この補助制度を警戒区域の解除時期から一定期間まで延長することは可能なのか、一度、区域外で再建した事業者が解除後に区域内に再移転する場合も利用できるか。

答弁 補助制度の延長については、警戒区域の解除時期が不明であることから、再建方法等に悩んでおられる事業者様もいること、また難しいこともあり、静岡県への予算要望においても延長をお願いしている。現時点で、延長についての援助等は決まっておらず、引き続き働きかけが必要であると認識をされている。一度区域外に再建した事業者様が警戒区域解除後、改めて区域内に再建する場合の対応はこの補助制度の運用はされないものと考えている。

高齢者の生活を支えるための外出支援対策を提示できないかについて

質問 高齢者外出支援対策についてこれまで16回も提案質問を繰り返しているが、結論は出せないのか。生きがいづくりのための場づくりとは別に、対策を講じてほしいが市長の答弁を求める。

答弁 これまでいくつかの実証実験を試みてきたが、財政負担の増加や地域ニーズとの乖離があり、利用数が伸びないなどがみられ、本格実施に至らなかった。他の市町ではバスタクシー乗車券交付などの事業を実施しているところもあり、その導入の効果や、今後の事業方針等情報収集・分析を行いながら本市の地形構造や地域ごとに異なる交通事情等を捉え地域の皆さんと共に考え創り進めたい。

要望 問題提起してから7年が経過しており、今更情報収集や分析などと言っ

ているということは今後とも高齢者外出支援対策はやれないと言っているのと同じ、本当にやる気があれば、これまでに調査や実施している市町の情報は既に手元にあるはず。今すぐに実施するのかもしれないかをしっかりとさせるべきであろうと思う。高齢者福祉計画などを策定しても、文章のみで具体性に欠けるものではなく、高齢者の生活支援にはなっていないことをよく理解して一日も早い外出支援をお願いする。



たけべ たかし
竹部隆 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■ 豪雨による市道等への倒木被害の防止策について

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質 疑 一 般 質 問



すぎやまとしかつ
杉山利勝 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■盛土規制条例・盛土規制法について ■下水道の条例改正について

6月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



伊豆山復興基本計画(案)について 県の第三者委員会の報告について

質問 この案策定に
あたり警戒区域内に住
む住民にどのように接
してきたか。

答弁 意見を話す機
会がないなど、警戒区
域内の住民からは大変
厳しい指摘をいただい
ている。意見交換を継
続して行い、復旧・復
興に可能な限り反映し
丁寧に事業を進めてい
きたい。

質問 1回目の検討
委員会資料にアンケ
ー結果があるが復興計
画のどこに生かされて
いるのか。

答弁 昨年11月に実
施したが、反映しきれ

ていない。この点を踏
まえ最終的に調整して
いる。被災者の実情、
状況を勘案し、復興ま
ちづくり計画、事業計
画に反映していきたい。

質問 帰宅を希望す
る支援者にどのような
メニューを提供できる
のか。

答弁 住宅再建に関
する資金面での不安は
重く受け止めている。

質問 住宅再建に向
けた財政的支援を実現
させることが必要と思
うが市長の考えはいか
が。

答弁 既存の制度で
は対応が困難なことに

ついては国や県等関係
機関に被災された地域
が置かれた現状を伝え
要望していく。

質問 行政の体質が
変わらない限り同様の
問題は起こる。市長は
どう思う。

答弁 体質を変える
ことは簡単ではない。

行政に求められる課題
も多様化、複雑化する
中で変化を厭わず旧態
依然とした体質が改善
されるよう自己チェッ
クを怠らず情報開示を
誠実に行っていく。

議 会 の は て な ?



質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※で表記されている言葉についての説明です。

P4
熱海観光局

熱海型の観光地づくりを行うために、設置を目指しているDMO法人のこと。

P4
DMO

「Destination Management/Marketing Organization」の頭文字を取った単語で、「自然や食など地域の観光資源に精通し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを行う法人のこと。

P5
インバウンド

海外から訪れた外国人が日本を観光すること。訪日外国人旅行のこと。

P5
ダイバーシティ

多様な人材を組織やチームに採用したり、意見を幅広く取り入れたりすることで、組織の生産性や競争力を高める経営戦略のこと。

P5
ヤングケアラー

病気や障がい、精神的な問題を抱える家族の介護や世話、家事などを日常的に行っている、18歳未満の子どものこと。



6月定例会 議決結果(本会議)

〈 市長提出の議案等 〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第28号 令和4年度熱海市一般会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第8号 専決処分の承認について(令和3年度熱海市一般会計補正予算(第10号))	承認(全員)
議案第29号 令和4年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	報告第9号 繰越明許費繰越計算書について(一般会計)	報告
議案第30号 熱海市議会議員及び熱海市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)	報告第10号 事故繰越し繰越計算書について(一般会計)	報告
議案第31号 熱海市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)	報告第11号 繰越計算書について(水道事業会計)	報告
議案第32号 熱海市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)	報告第12号 繰越計算書について(下水道事業会計)	報告
議案第33号 補助参加について	可決(全員)	報告第13号 繰越計算書について(温泉事業会計)	報告
報告第5号 専決処分の報告について(市有地内樹木のかしによる事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	同意第2号 教育委員会委員の任命について	同意(全員)
報告第6号 専決処分の承認について(熱海市国民健康保険税条例及び熱海市介護保険条例の一部を改正する条例)	承認(全員)	同意第3号 教育委員会委員の任命について	同意(全員)
報告第7号 専決処分の承認について(熱海市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)	承認(全員)	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし

〈 議員提出の議案等 〉

件名	議決結果	件名	議決結果
発議案第4号 補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴(児)者への支援拡充求める意見書	可決(全員)	選挙第1号 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙について	選挙

可決された意見書

意見書とは…市政の発展や市民生活の向上のために実現してほしい事柄について、市議会の意思として国会や関係行政機関に提出する文書のこと。

補聴器購入補助等の改善をはじめ、難聴（児）者への支援拡充を求める意見書（発議案第4号）

聴力に障害があり、障害者総合支援法の身体障害者障害程度等級 2 級～ 6 級に該当する場合は補聴器が「補装具費支援制度」の対象とされているが、軽度・中等度難聴（児）者については、「補装具費支援制度」の対象となっていない。特に子どもにとって、聞こえは発達・学業にも大きな影響がある。また、成人にとっては仕事にも支障があり、高齢者にとっては、非常時の対応の遅れが命にかかわる。軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費等助成制度は、全ての都道府県で創設されているが、自治体によって制度の内容が大きく異なっている。また、成人・高齢者については、制度そのものがない自治体もある。どこの自治体に住んでいても、軽度・中等度難聴（児）者に対して十分な補助が行われるべきである。よって、国におかれては、下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要請する。

- 一、国の財政負担により、全ての年齢における軽度・中等度難聴（児）者等に対する補聴器の購入費及び修理・維持費に対する補助を実施すること。
- 一、補聴器の購入費及び修理・維持費の対象に下記を追加すること。
 - ①非難聴側が正常の片側難聴、高音急墜型、聴覚情報処理障害（児）者を加えること。
 - ②イヤーマールド、両耳補聴器、無線式補聴援助装置、外形形態異常に対する軟骨伝導補聴器を購入費の補助対象とすること。
- 一、先天性難聴の早期発見のため、全ての自治体で新生児聴覚検査への公費助成を実施するよう、国が財政的援助を強化すること。
- 一、病気による難聴の予防のため、おたふくかぜワクチンの定期接種化や、風しんワクチンの第 5 期接種の周知徹底と延長を行うこと。

提出先：衆議院議長/参議院議長/内閣総理大臣/総務大臣/財務大臣/厚生労働大臣

委員長報告

●観光建設公営企業委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第28号 議案第32号 議案第33号	可決 (全会一致)	議案第33号について、損害賠償請求事件に対し、当事者である原告を補助するため訴訟に参加するものであり、他の付託議案とともに必要な措置と認める。
報告第8号	承認 (全会一致)	令和3年7月伊豆山土石流災害に係る堆積土砂排除事業について、繰越明許費に変更が必要となったことから、専決処分したものであり必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第28号 議案第29号 議案第30号 議案第31号	可決 (全会一致)	議案第28号令和4年度熱海市一般会計補正予算（第2号）のうち、第3款民生費について、児童福祉総務費として新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰な等に直面する低所得の子育て世帯に対して支給する特別給付金事業のための追加補正等であり、他の付託議案とともに必要な措置と認める。
報告第6号 報告第7号	承認 (全会一致)	報告第6号専決処分の承認について（熱海市国民健康保険税条例及び熱海市介護保険条例の一部を改正する条例）について、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る令和4年度分の国民健康保険税及び介護保険の第1号保険料の減免の特例の延長を行うこととしたことに伴い、関係条例について所要の改正をしたものであり、他の付託議案とともに必要な措置と認める。

伊豆山土石流災害に関する

調査特別委員会 調査経過を報告します

議会だより第50号にて、令和4年4月までの委員会の開催状況や調査経過をお知らせしました。今回は、令和4年5月から6月までに3回開催した委員会の概要や、どのような調査がされたかを報告します。

●第12回（令和4年5月11日開催）

第11回委員会で招致することを決定した参考人7名に出席していただき、意見や知りえた事実について述べていただきました。また証人1名に対して証人尋問を行いました。

出席した参考人

招致した参考人	どのような人物か
7人	熱海市職員、熱海市元職員（2名）、熱海市元副市長、静岡県職員（2名） 静岡県元職員

出頭した証人

証人尋問	どのような人物か
1人	土石流が発生した土地の前土地所有者の関係人

●第13回（令和4年5月12日開催）

第12回委員会に引き続き、証人6名に対して証人尋問を行いました。

出頭した証人

証人尋問	どのような人物か
6人	土石流が発生した土地の現土地所有者の関係人、土石流が発生した土地の前土地所有者の関係人（3名）、土石流が発生した土地の現土地所有者、土石流が発生した土地の前土地所有者

●第14回（令和4年6月14日開催）

第13回委員会に引き続き、証人1名に対して証人尋問を行いました。また、本委員会の会議録等の取扱いについても、協議しました。

出頭した証人

証人尋問	どのような人物か
1人	土石流が発生した土地の現土地所有者の関係人



全国温泉所在都市議会議長協議会の 総会などが行われました

熱海市議会議長が会長を務める全国温泉所在都市議会議長協議会（加盟市：105市）の総会等が、東京の全国都市会館にて開催されました。総会には、82市165名が出席し、決算・予算運動方針などが原案のとおり可決されたほか、本市の越村議長が引き続き協議会会長に選任（任期2年）されました。



永年勤続表彰の受賞について

令和4年6月定例会で、杉山利勝議員、川口健議員が議員15年として、全国市議会議長会及び東海市議会議長会から永年勤続表彰を受けられました。これに対し、市長より感謝状と記念品が贈られました。



杉山利勝議員



川口健議員

次回 熱海市議会 令和4年9月 定例会



主な日程

9月28日(水)	10:00～	本会議（議案上程）
10月11日(火)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
10月12日(水)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
10月13日(木)	10:00～	決算特別委員会
10月14日(金)	10:00～	決算特別委員会
10月17日(月)	10:00～	観光建設公営企業委員会
10月18日(火)	10:00～	総務福祉教育委員会
10月25日(火)	10:00～	本会議（審議採決）

※日程は変更になる場合がございます。

第61代熱海市議会議長 山田 治雄 議員 逝去



7月1日 熱海市議会議員として12期47年2カ月の間、市政発展のために尽力された山田治雄議員が御逝去されましたので謹んでご報告いたします。

氏の生前の功績をしのび、心から御冥福をお祈り申し上げます。

次回の市議会だよりは、12月9日発行予定です。

<議会だより編集委員会>委員長：杉山 利勝 副委員長：橋本 一実
委員：赤尾 光一・後藤 雄一・小坂 幸枝